

2012年7月3日

リチウムイオン二次電池用 負極材料及び電極の共同開発契約を締結

JNC 株式会社(本社:東京都千代田区、社長:森田美智男)は、フランス原子力庁(CEA: Commissariat à l'énergie atomique et aux énergies alternatives)の新エネルギー技術研究部門(LITEN:Laboratoire d'Innovation pour les Technologies des Energies Nouvelles)と自動車用リチウムイオン電池に使用される負極材料および電極の共同開発を開始します。



電気自動車に使用されるリチウムイオン二次電池には、一度の充電で電気自動車を長距離走行させる性能や、充放電を繰り返しても電池性能が劣化しない等の耐久性が求められています。

リチウムイオン二次電池の負極材料には炭素が使用されています。炭素を用いた負極材料は、その物性から電池容量とエネルギー密度に限界があるために、これらを解決する新規材料の開発が強く望まれています。

当社は LITEN と最先端のシリコン系負極材料およびそれを用いた電極の共同開発契約を締結し、開発を推進することと致しました。

JNCグループでは、既にリチウムイオン二次電池材料用の正極材料およびセパレーターの開発を進めており、本共同開発を行うことで、電池メーカーにトータルソリューションを提供することが可能となります。

<LITENについて>

CEA の新エネルギー分野に関する研究所であり、毎年 400 件の共同研究が行われています。研究領域は再生可能エネルギー(太陽光、バイオマス)やエネルギーの効率利用(自動車、低エネルギー建築物、水素技術、電力マネジメントなど)、またそれらの関連材料にも及んでいます。

<http://www-liten.cea.fr/>

以上

本件に関するお問い合わせ先

総務室 広報担当
研究開発本部

TEL 03-3243-6370
TEL:03-3243-6330